

秋ノ七表

見侍りしに上西門院へじやうさいもんゐんおはしますよし聞

て待賢門院へたいけんもんゐんの御事思ひ出られて兵衛へひやうゑ

殿へどののつぼねへさしをかせ侍りし

紅葉見て君がたもとや時雨へしぐるらん

むかしの秋のいろをしたひて

返し

色へいろふかき木ずゑをみても時雨へしぐれつゝ

ふりにしことをかけぬまぞなき

待賢門院へたいけんもんゐんの中納言へちうなごんのつぼね世へよのがれて